

天竜パネル 施工説明書

このたびは天竜パネルをお買い上げいただきありがとうございます。
製品の特性を十分に活かし、安全に施工いただくために、本書をよく読み正しくお取り扱いください。

□運搬・搬入・保管

- ・運搬・搬入：製品に傷をつけないよう、特に角や端部を当てて傷めないように注意してください。
また周囲の安全を確認した上での搬入をお願いいたします。
- ・保管環境：原則屋内保管とし、湿度の高い場所や雨水・直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
工事現場で屋外に保管する場合は、平坦な場所に輪木を高く置き、必ず製品にシートを被せてください。

□施工前確認

- ・検品：施工前に必ず商品の欠陥の有無をご確認ください。加工・施工後の商品の返品や交換はできませんので、欠陥が認められた際はお手数ですが施工は行わず、お手数ですが弊社にご連絡をお願いいたします。
- ・施工環境：湿度の高い日や、換気が十分でない場所の施工は避けてください。パネルの突き上げ・反りやカビ等の原因になります。

□仮並べ・割り付け・切断

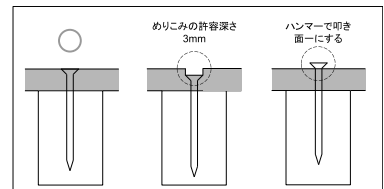
- ・天然木を使用しているため、製品ごとに色や節などの表情が異なります。必要の際は仮並べをしてバランスの確認をしてください。
- ・パネルは千鳥張りにて施工してください。
- ・パネルは横架材の芯にあわせて設置してください。
- ・パネルの切断は、現場で行っても、プレカット工場等で切断したものを現場に持ち込んでも良いものとしています。

□施工時

- ・パネルの留め付けには、N75釘(JIS A 5508)を使用してください。
- ・留め付けの釘のピッチは、川の字打ちの場合は100mmピッチ、四周打ちの場合は150mmピッチです。
- ・釘打ち位置のマーキングを定規等を用いて行い、マーキングのピッチ以下で留め付けてください。

床倍率の確保のためには、釘の留め付け間隔を仕様通りに行うことが重要になります。

- ・釘の打ち付けは、手打ちでも釘打ち機でも行うことができます。
- ・釘打ち機を使用する場合は、釘がパネルにめり込まないように空気圧を調整してください。
めりこみの許容深さは3mmまでとし、それ以上の場合は付近に増し打ちをしてください。
また、釘頭が残る場合はハンマーで打って面一にしてください。（右図参照）
- ・節等により釘が入らない場合は、付近に増し打ちをしてください。
- ・屋根材に使用する場合、雨漏りや漏水が発生しないよう、適切な防水を施し、通気層を設けるなど湿気が溜まらないようにご配慮をお願いいたします。



□施工後確認

- ・施工後はパネルの施工が本説明書通りに行われているか確認してください。
確認項目：N75釘を使用していること・釘の打設ピッチなど
- ・確認が終了したら、周囲に釘やゴミなどが落ちていないことを確認し、清掃してください。
- ・清掃後は、傷防止のために必ず養生して床材の表面を保護してください。
布製ガムテープ・クラフトテープなどはパネルの表面を損傷する恐れがあるため使用しないでください。
- ・キッチンなど、水かかりがある箇所ににつきましては、パネルの水濡れによる損傷を防ぐためにも、シリコンコーキング処理などを施すことをおすすめいたします。

□免責事項

- ・納品時に欠陥等があった場合は、欠陥商品分の交換または代金返済にて補償が適用されます。(例：商品間違い・商品の欠損や汚損)
欠陥商品の返送・交換で発生する運賃につきましては、弊社にて負担いたします。
- ・お客様の都合による商品の返品につきましては、商品が通常品であり、未加工・未施工・上記保管条件等が遵守されている場合に限りご相談を承ります。またご返品・交換で発生する運賃につきましては、お客様によるご負担といたします。
- ・天然木を使用しているため、色や節などの表情の違いによるクレームは補償の範囲外とさせていただきます。

評価仕様

詳細の評価仕様については、別途水平構面のせん断耐力評価試験の評価書をご確認ください。

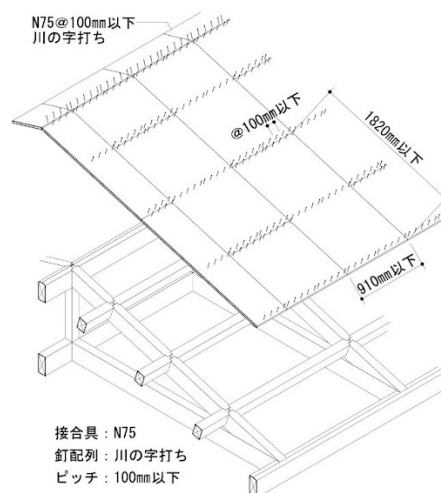
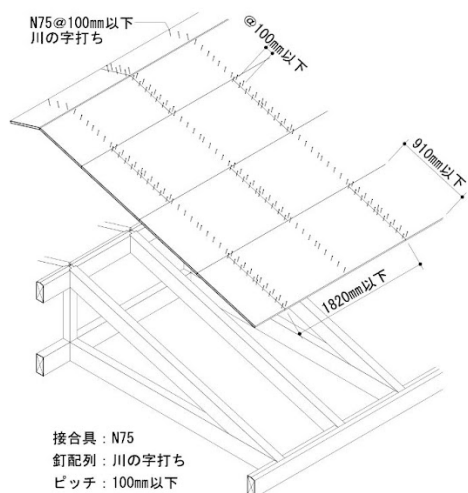
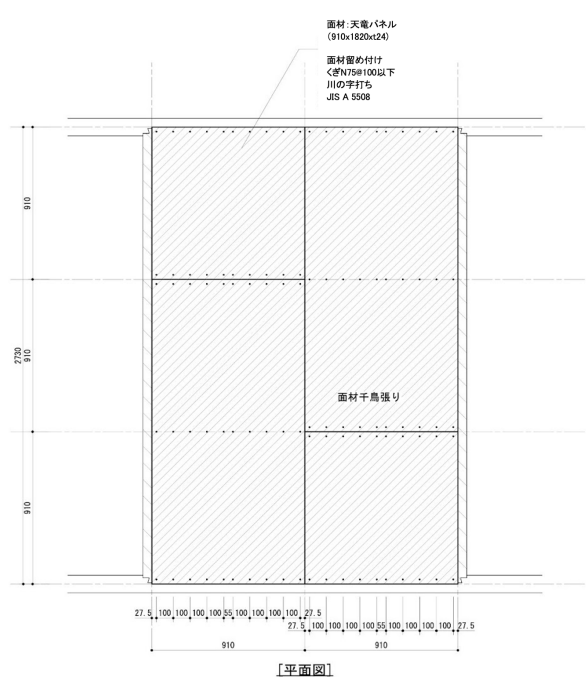
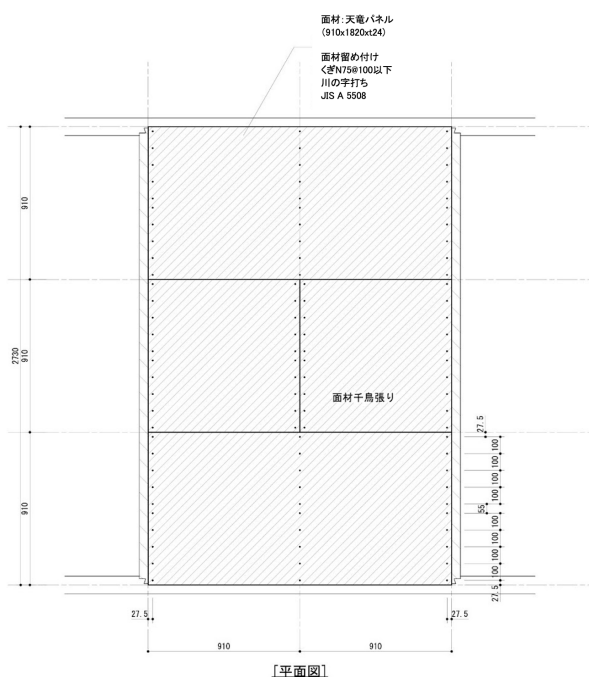
軸組等の仕様	
項 目	仕 様
横架材 (床・桁・梁・胴差) (屋根・桁・梁・登り梁・転び母屋・棟木)	断面寸法105mm×150mm以上
受け材 ※四周打ちの場合	断面寸法 90mm×90mm以上
間隔	910mm、1820mm、2730mm
勾配 ※屋根の場合	0寸～10寸

接合具の仕様	
項 目	仕 様
面材と軸組	鉄丸くぎ N75 (JIS A 5508:2009)
軸組と軸組	鉄丸くぎ N90 (JIS A 5508:2009) 大入れ仕口 2本斜め打ち
受け材と軸組 ※四周打ちの場合	鉄丸くぎ N90 (JIS A 5508:2009) 蟻仕口 2本斜め打ち

●川の字打ち @100ピッチ 床倍率3.1/屋根倍率2.7※勾配なし

釘間隔：外周部・中通り 100mm以下（一部55mm） / 縁端距離 27.5mm

釘本数：面材外周部・中通り 短手方向長さ 10本



釘間隔：外周部・中通り 150mm以下（一部127.5mm、132.5mm） / 縁端距離 27.5mm
釘本数：面材外周部・中通り 短手方向長さ 7本 / 面材外周部 長手方向長さ 13本

